

# 平成26年度 京都市2月補正予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京北地域活性化のビジョンの推進		
予 算 額	10,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	地域自治推進室(222-3049)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>右京区京北地域については、平成17年に本市との合併以降、「京都市・京北町合併建設計画」及び「京都市過疎地域自立促進計画」に基づき、京北トンネル、幹線道路、水道施設、道の駅等の整備や農林業の振興等、各種事業を着実に実施し、地域活性化の基盤となるインフラ整備は大きく進展した。</p> <p>その一方で、人口の減少や高齢化の進行に歯止めがかからず、更なる地域の活性化が必要である。</p> <p>このため、合併から10年が経過するのを機に、京北地域活性化企画本部を設置し、現在、今後の京北地域について全庁挙げて改めて調査、検討及び企画し、新たな発想やアイデアを盛り込んだ活性化のビジョンの策定を進めている。</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成27年度は、ビジョンに掲げる各種施策や事業について、民間事業者や地域住民等と協働して、具体化に向けた事業手法等の調査・検討を行い、ビジョンの実現を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンに掲げる施策の規模、資金計画等の検討</li> <li>・市場ニーズ調査、現地調査の実施</li> <li>・企業誘致プログラムの作成 等</li> </ul> <p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b></p>			

# 平成26年度 京都市2月補正予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動		
予 算 額	84,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	市民生活部くらし安全推進課(222-3193)		
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>          市民生活の一層の安心安全の実現とともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催も見据えた観光旅行者等の安心安全の向上を目指し、京都市と京都府警察が平成26年7月31日に締結した「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」に基づき、「誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまちづくり」の取組を進めている。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>          京都市と府警本部や区役所・支所と警察署が相互に連携し、地域との協働のもと、取組の視点や指針となる事項を示した「全市版運動プログラム」に基づき、地域の特性や課題に応じた安心安全の向上のためのソフト・ハード両面の取組を実施する。</p> <p><b>1 市民ぐるみ推進運動支援事業（各区で取り組む事業）</b>          各行政区で、市民、区役所・支所、警察署等からなる区推進組織を設置し、区の現状、課題等に応じた、安心安全向上のための具体的な取組計画となる「区版運動プログラム」を策定する。          また、各区に予算を配分し、地域の特性や課題に応じて区が裁量を持って行う推進運動（地域防犯活動、防犯環境整備等）を支援できる市民ぐるみ推進運動支援事業を創設する。          なお、各区における取組を円滑に進めるため、平成27年度から右京区と伏見区が先行して取組を進め、他の区の実施の参考となるモデルケースをつくとともに、29年度までに全ての区で取り組めるよう、段階的に実施していく。</p> <p><b>2 全市事業（全市的に取り組む事業）</b>          本運動の普及啓発をはじめ、「防犯カメラ設置促進補助事業」（新たに事業者やマンション管理組合等を補助対象に（補助率1/3））、「青色防犯パトロール委託事業」（地域における防犯活動の活性化を推進）など、全市的に取り組む事業を行う。</p>			
<p><b>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</b>          本運動の目標の一つとして、取組期間の最終年度である平成32年度までに「刑法犯認知件数を1万件台半ば」とする、これまでにない高い目標を設定</p>			

# 平成26年度 京都市2月補正予算案 事業概要

文化市民局

<b>事務事業名</b>	「京都文化芸術プログラム2020(仮称)」を牽引する重要事業																
<b>予 算 額</b>	12,000千円	<b>新規・継続の別</b>	新規・継続														
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠														
<b>担 当 課</b>	文化芸術都市推進室文化芸術企画課(366-0033)																
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  平成32年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に加え、平成31年のラグビーワールドカップ2019、平成33年の関西ワールドマスターズゲームズ2021など、世界的なスポーツイベントが集中的に開催される。                  こうした機会を捉え、日本文化の真髄である京都の文化芸術を担う次の世代を育成するとともに、その魅力を国内外へ発信していくため、平成26年度内に「京都文化芸術プログラム2020(仮称)」を策定し、強力に推進すべき事業を取りまとめる。                  本プログラム策定に先駆けて、平成26年度から一部の事業をリーディング・プロジェクトとして実施しており、平成27年度から本格的に実施していく。</p>																	
<p><b>[事業概要]</b>                  プログラムを牽引する重要事業</p> <p><b>1 京都・和の文化体験の日</b>                  大学生をはじめとする若者が和の文化に触れ、体験し、さらに和の文化を支える伝統産業に馴染む機会を提供する。</p> <p><b>2 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業(仮称)</b>                  2020年に、世界中からアーティストが京都に集結するための環境の整備を進めるため、文化庁と連携し、京都芸術センターにおいて全国の芸術家が集い、滞在しながら作品制作を行う拠点となるための取組を実施する。</p> <p><b>3 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組</b>                  2020年までの期間に、より多くの子どもたちが優れた伝統的な文化芸術に触れる機会を設けることにより、豊かな感性や人間性を育むとともに、京都の文化芸術を自分の言葉で国内外の方に伝え、発信できる青年層を戦略的に育成する。</p>																	
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b>                  「京都文化芸術プログラム2020(仮称)」を牽引する重要事業には、上記の事業のほか、平成27年度の政策的新規充実予算枠で計上している以下の事業等も掲げられている。</p> <table border="0"> <tr> <td>・ロームシアター京都(京都会館)オープニング事業</td> <td>229,300千円</td> </tr> <tr> <td>・京都市美術館再整備事業</td> <td>215,300千円</td> </tr> <tr> <td>・「京都遺産制度(仮称)」の創設</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>・琳派四〇〇年記念事業「琳派国際フォーラム」及び記念展覧会の開催</td> <td>26,000千円</td> </tr> <tr> <td>・京都文化フェア(仮称)の開催準備</td> <td>4,000千円</td> </tr> <tr> <td>・東アジア文化都市の開催準備</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>・大政奉還150周年記念プロジェクト</td> <td>2,500千円</td> </tr> </table> <p>(詳細は各予算広報資料を参照)</p>				・ロームシアター京都(京都会館)オープニング事業	229,300千円	・京都市美術館再整備事業	215,300千円	・「京都遺産制度(仮称)」の創設	10,000千円	・琳派四〇〇年記念事業「琳派国際フォーラム」及び記念展覧会の開催	26,000千円	・京都文化フェア(仮称)の開催準備	4,000千円	・東アジア文化都市の開催準備	1,000千円	・大政奉還150周年記念プロジェクト	2,500千円
・ロームシアター京都(京都会館)オープニング事業	229,300千円																
・京都市美術館再整備事業	215,300千円																
・「京都遺産制度(仮称)」の創設	10,000千円																
・琳派四〇〇年記念事業「琳派国際フォーラム」及び記念展覧会の開催	26,000千円																
・京都文化フェア(仮称)の開催準備	4,000千円																
・東アジア文化都市の開催準備	1,000千円																
・大政奉還150周年記念プロジェクト	2,500千円																